

パンドラの匣 (2009)

メディア 映画
ジャンル 青春 ロマン스 文芸
製作国 日本
色彩 Color
時間 94分
初公開日 2009/10/10
公開情報 東京テアトル
映倫 G

【解説】

太宰治の同名青春小説を「パピリオン山椒魚」の異才・富永昌敬が映画化。主演は「14歳」「フレフレ少女」の染谷将太。共演に仲里依紗、窪塚洋介。また、看護婦長・竹さん役で人気芥川賞作家の川上未映子が出演し大きな話題に。

敗戦直後、身体の弱い青年・利助は、人里離れた結核療養所“健康道場”に入所する。そこでは風変わりな治療法が実践され、患者も看護婦もアダ名で呼び合うなど独特の慣習も数多く存在した。自称“新しい男”の利助もさっそく“ひばり”と名付けられ、この奇妙な日常に馴染んでいく。そんなある日、結核が完治し退所したつくしと入れ替わりで新しい看護婦長の竹さんがやって来る。そんな年上の竹さんや、つくしを恋しがる陽気な看護婦マア坊との他愛のない日々の出来事をつくし宛の手紙にしたためのひばりだったが…。

【クレジット】

監督	富永昌敬	
プロデューサー	西ヶ谷寿一 大野敦子	
原作	太宰治	『パンドラの匣』（新潮文庫刊）
脚本	富永昌敬	
撮影	小林基己	
美術	仲前智治	
衣装	小磯和代	
編集	富永昌敬	
音楽	菊地成孔	
照明	藤井貴浩	
整音	パードン木村	Pardon Kimura
効果	パードン木村	Pardon Kimura
ヘアメイク	梶清恵	
録音	高田伸也	
助監督	久保朝洋	
出演	染谷将太	ひばり
	川上未映子	竹さん
	仲里依紗	マア坊
	窪塚洋介	つくし
	ふかわりょう	固パン

小田豊		越後獅子
杉山彦々		かっぼれ
KIKI	KIKI	大月キヨ子
洞口依子		ひばりの母
ミッキー・カーチス	Mickey Curtis	場長